



右上：村上華岳《裸婦図》【重要文化財】1920(大正9)年 絹本・彩色
右下：竹内栖鳳《班猫》【重要文化財】1924(大正13)年 絹本・彩色
左：上村松園《夕べ》1935(昭和10)年 絹本・彩色
全て山種美術館蔵



國學院大學 × 山種美術館 美術文化フォーラム2

村上華岳と京都

そして日本文化へ

第1部 フォーラム

講演1 「村上華岳—京都画壇の画家たち」

山種美術館 館長 山崎 妙子

講演2 「祖母・松園と父・松篁」

日本画家・公益財団法人 松伯美術館 館長 上村 淳之

講演3 「日本文化の源泉と信仰

— 神仏信仰の変容と日本の精神性の形成 —

國學院大學博物館 館長 笹生 衛

第2部 クラリネットコンサート ～美術と音楽の調べ～

「魂—Soul—」

メシアン、モーツァルト、ストラヴィンスキー の曲より

演奏 吉田 誠(クラリネット奏者)

企画・構成 瀧井 敬子(音楽学者・音楽プロデューサー)

2015年11月14日(土)

フォーラム 13:30~16:10 コンサート 16:30~17:30

國學院大學 学術メディアセンター1階 常磐松ホール

http://www.kokugakuin.ac.jp/guide/access_shibuya.html

(東京都渋谷区東4-10-28) ※山種美術館より徒歩約5分

山種美術館 <http://www.yamatane-museum.jp/>

- 定員：270名(先着順) ●参加費：無料
- 申込方法：ウェブ利用、往復はがき、FAX
- ※詳細は裏面または國學院大學ホームページをご覧ください



お問い合わせ

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

國學院大學博物館「美術文化フォーラム2」係

TEL 03-5466-0359 FAX 03-5466-6697

平成27年度文化庁「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」





村上華岳と京都 そして日本文化へ

※は必須事項です

フリガナ		性別	男 ・ 女
お名前*		年齢	歳
住所*	〒	ご参加するものにチェックしてください ※どちらもご参加の場合はどちらもチェックをつけてください <input type="checkbox"/> フォーラム(13:30～16:10) <input type="checkbox"/> クラリネットコンサート(16:30～17:30)	
電話番号*		FAX番号*	
メールアドレス			

《個人情報の取り扱いについて》 お申し込みの際にご提供いただいたお客様の個人情報は、本イベントの目的以外では利用いたしません。また、利用目的に照らして不要となった個人情報については、速やかに且つ適正に削除・廃棄いたします。お客様の個人情報をお客様の同意なしに業務委託先以外の第三者に開示・提供することはありません。(法令などにより開示を求められた場合を除きます)

- 申込方法**
- ウェブ利用の場合** 國學院大學HP→イベント一覧より本フォーラムの告知ページ内にある申込フォームよりお申し込みください。
 - 往復はがき・FAXの場合** ①氏名②年齢③郵便番号④住所⑤電話番号⑥「フォーラム・クラリネットコンサートの参加希望」を明記の上、オモテ面の問い合わせ先までお送りください。
- 参加申込が受理されましたら、受講票を発行いたします。(FAXの方はFAXを送付・はがきの方は返信はがきを送付・ウェブ利用の方はメールで返信)
 ※先着順により定員に達し次第、応募を締め切らせていただきます。

第1部 フォーラム

講演1 **村上華岳**
—京都画壇の画家たち

山種美術館 館長
山崎 妙子

東京都生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業。東京藝術大学大学院美術研究科修士課程を経て1991年後期博士課程修了。学術博士。同年、山種美術財団理事・山種美術館特別研究員。副館長を経て、2007年5月、山種美術財団理事長兼山種美術館館長に就任し、現在に至る。著書に、『速水御舟の芸術』(日本経済新聞社)、『現代日本素描全集④速水御舟』(ぎょうせい)など。各所での講演会のほか、2012年には、『家庭画報』では「感じる!日本画 山種美術館・山崎妙子館長 特別講義」を1年間連載し、日本画の画材や技法を紹介するなど、日本画の新たな魅力を伝えるためのさまざまな活動を続けている。



講演2 **祖母・松園と父・松篁**

日本画家
公益財団法人 松伯美術館 館長
上村 淳之

1933年京都市に生まれる。1959年京都市立美術大学(現京都市立芸術大学)専攻科修了。1981年創画会員となる。1992年京都府文化賞功労賞、1994年上村家三代の作品を所蔵、展覧する松伯美術館が開館、館長となる。1995年日本芸術院賞。1999年京都市立芸術大学名誉教授・副学長となる。同年京都市文化功労賞。2002年日本芸術院会員。2004年京都市立芸術大学副学長を退任し、翌年京都市学校歴史博物館館長に就任。2011年京都府文化賞特別功労賞、同年京都市特別功労賞。2013年文化功労者に選ばれる。現在、日本芸術院会員。



講演3 **日本文化の源泉と信仰**
—神仏信仰の変容と日本の精神性の形成—

國學院大學博物館 館長
笹生 衛

1961年千葉県に生まれる。1985年國學院大學大学院(文学研究科)博士課程前期修了。千葉県立安房博物館学芸課上席研究員、千葉県教育庁文化財課主任文化財主事などを経て、現在、國學院大學神道文化学部教授。専門分野は日本考古学・日本宗教史。博士(宗教学)。主な著書に、『神仏と村景観の考古学』弘文堂(2005年)、『日本古代の祭祀考古学』吉川弘文館(2012年)、研究業績に『古代祭祀の形成と系譜—古墳時代から律令時代の祭具と祭式—』『古代文化』第65巻第3号 公益法人古代学協会(2013年)等がある。2015年、國學院大學博物館館長に就任し、調査・研究の傍ら日本文化の発信に力を入れている。



第2部 クラリネットコンサート ～美術と音楽の調べ～ 演奏曲：メシアン、モーツァルト、ストラヴィンスキー の曲より(予定)

演奏 クラリネット奏者
吉田 誠

2008年文化庁新進芸術家海外派遣研修員。2009、2010、2012年(財)ロームミュージックファンデーション奨学生。小澤征爾監督ロームミュージックファンデーション指揮クラスに合格、以後指揮セミナーを継続して受講。サイトウ・キネン・フィスティバル松本の『兵士の物語』に毎年出演。トヨタ・マスター・プレイヤーズ・ウィーンのリソリストに抜擢され、全国ツアーに参加。グラチア音楽賞受賞。これまで、サントリーホール、東京文化会館など国内各地の主要ホールでリサイタル、コンチェルト演奏を行う。京都おもてなし音絵巻プロデューサー。



企画・構成
元東京藝術大学社会連携センター 特任教授
音楽学者・音楽プロデューサー
瀧井 敬子

東京藝大卒業、同大学院修了。明治の文豪の西洋音楽受容のスペシャリスト。著作や論文の執筆だけでなく、森鷗外訳オペラ『オルフェウス』、坪内逍遙の楽劇『新曲浦島』などの舞台化やレクチャー・コンサートによって研究成果を発表している。新聞、雑誌への寄稿多数。東京藝術大学特任教授、客員教授を歴任して2014年定年退官。2010年まで国立西洋美術館客員研究員も兼任。現在、くらしき作陽大学特任教授。



吉田誠さんはスター性に富んだ逸材です。そのクラリネットの響きは豪快、かつ魅力的な繊細さがあります。吉田さんは美術館が大好き!心惹かれた絵画とじっくり対話していると、頭の中に音楽が溢れ出してくるそうです。

今回は、『裸婦図』を完成させた村上華岳の官能性と崇高さの融合した独自の世界に、クラリネット1本で挑む、ユニークで意欲的なコンサートです。華岳の思いがけない一面を、皆様にもお聴かせすることできるでしょう。トークも交えた音楽と美術のコラボレーションを、ぜひお楽しみください。(瀧井敬子)

●展覧会のご案内 (会期中の休館日は各館のホームページ等をご確認ください)



國學院大學博物館 神道展示ゾーン 四季の祭礼

特別展 《裸婦図》重要文化財指定記念 村上華岳—京都画壇の画家たち
会場：山種美術館 会期：10月31日(土)～12月23日(水・祝)

特別展 江戸のベストセラー『唐詩選』の世界
会場：國學院大學博物館 会期：10月3日(土)～11月15日(日)

山種美術館(一般当日1,200円)は、10時から17時(最終入館は16時半)までの開館です。当日ご鑑賞ご希望の方は、イベント開始前にご来館ください。
 國學院大學博物館(入館無料)は、本イベント当日、フォーラム終了後も観覧いただけます。